

事故種別 社会的に影響を及ぼした事故

事故発生 事業所の概要	受電電圧 22kV 契約電力 11,000kW 業 種 テナントビル 主任技術者選任形態 選任
----------------	--

(事故の概要)

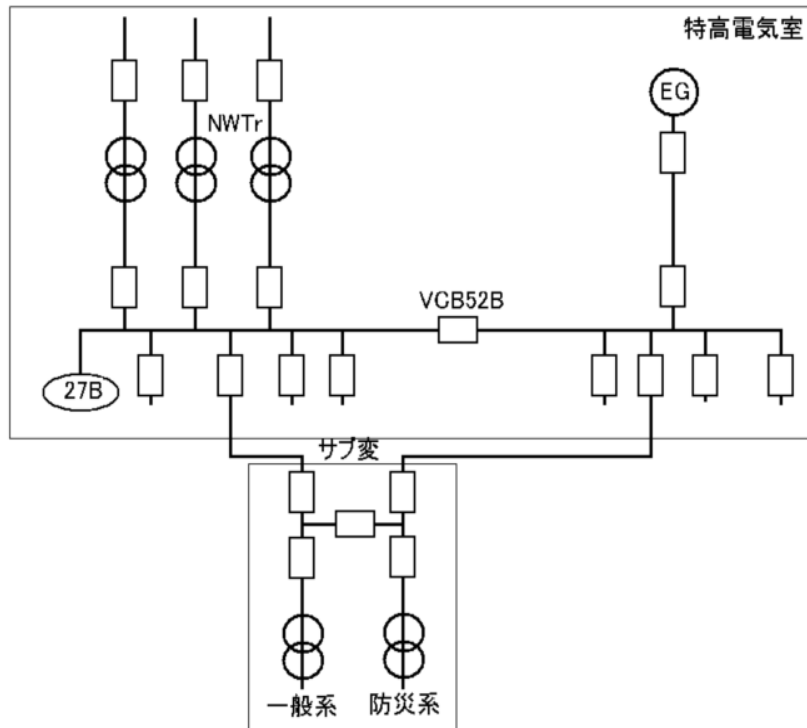
事故発生日時 春 16時00分頃、天候 晴

事故発生電気工作物 サブ電気室受電用VCB

被害の概要 全館停電

(事故の状況)

- ・ 特高受変電設備の改修工事のため、通常は自動起動する非常用予備発電装置を手動起動に切り替え、通常は閉路している特高電気室母線連絡遮断器VCB52Bを開放していた。
- ・ この状態でテナントエリアにおいて、誤って「排煙ボタン」が押されたことにより「防災動力作動信号」が発信したため、非常用予備発電装置起動ロジック（防災動力作動信号 + 特高電気室母線連絡遮断器VCB52B開放）が成立し、サブ電気室の受電用VCBが一斉に開放されたが、非常用予備発電装置が手動モードのため起動せず、全館停電が発生した。
- ・ 保安担当者は、常用電源の送電が停止した場合に非常用予備発電装置が起動することは認識していたが、常用電源の送電が停止しなくても、防災動力作動信号と特高電気室母線連絡遮断器VCB52B開放のAND条件で、非常用予備発電装置起動ロジックが成立することは把握していなかった。



(再発防止対策)

- ・ 工事再開にあたっては、非常用予備発電装置起動ロジックの発信の条件を常用電源の送電停止（母線電圧低下）のみとする。
- ・ シーケンスの再確認を行い、必要があれば修正した上で保安教育を実施する。
- ・ 工事の実施にあたっては、事前の打ち合わせを徹底し、工事中の異常時対応について訓練を行う。